

はじめに

道路は、日常生活や経済活動に欠かすことができず、歩行者や自動車交通を担うばかりではなく、その他様々な交通機関を支えています。また、電力や水道、通信などの公共公益施設の収容空間、防災機能などの役割も果たしています。最近では、高齢化や国際化、高度情報化などの社会情勢の変化にも対応していくことが求められています。

千葉県は、首都圏にあって広大な県土と豊かな自然環境を有し、農水産業、工業、商業が共に発展し、バランスのとれた産業構造を有しています。これらの産業を支えるためには、幹線道路と連携する県内の国道・主要県道などの一般道路について、安全で快適な道路が不可欠です。

しかし、道路は供用開始が行われると、補修（維持・修繕）やその他の管理が必要となります。この舗装道路の補修にあたっては、道路の損傷及び交通量等を考慮し、安全で円滑な交通と信頼性の高い舗装を確保するとともに、舗装に起因する沿道環境を保全するために効果的・効率的に実施することが重要です。

また、近年の環境問題への関心が非常に高く、自動車交通騒音に対する生活環境の改善、沿道の大気環境対策、地球温暖化対策等が道路において対応すべき緊急の課題となっています。

このような道路情勢の中で、千葉県道路舗装協会では、急激な社会情勢の変化に対応すべく道路舗装技術の研究開発・普及を微力ながら行っています。千葉県の道路状況に適合する舗装について、常に調査・開発・研究を積み重ね検討し、千葉県の舗装行政に少しでも役立てたく道路舗装協会保有の新技术・新工法を提案しています。

以下に、道路舗装に要求される機能と舗装技術について示します。

①安全性の向上

安全性を向上させるために、地形や道路の形状、雨天時の路面状況等を加味して、安全性を確保するための舗装技術があります。

（技術）耐流動性舗装，耐摩耗性舗装，すべり抵抗性を高めた舗装，
排水性・透水性舗装，スピード抑制などの注意喚起舗装，凍結抑制舗装，
歩道のバリアフリー

②渋滞緩和

渋滞を緩和させるために、必要不可欠な路上工事にもできる限り迅速に施工する工法を選ぶこと、舗装の補修回数を少なくする舗装構造とすることが重要です。

(技術) 合理的な交通規制, 迅速な施工, 舗装の長寿命化

③環境問題の解決

環境問題の解決のために、都市型洪水やヒートアイランド現象の発生を抑制する舗装技術の研究開発に努力しています。

(技術) 舗装廃材のリサイクル技術, 低騒音舗装, 透水性舗装, 振動抑制舗装,
地球温暖化抑制(保水性舗装、遮熱性舗装)

道路舗装に要求される機能を満たすような新技術・新工法は、効果的な適用場所と構造設計基準の作成, 使用材料・混合物に関する試験方法とし評価基準の検討、配合設計方法の確立、機能の保持と回復に関する検討等、解決しなければならない問題点も残っています。

本試験舗装追跡調査報告は、平成29年度試験舗装の追跡調査結果を取りまとめています。追跡調査は、施工後半年ごとに目視調査を行い、施工後3年目に試験舗装区間の現地調査を実施して、新工法の成果を評価して頂きます。

今年度は、「千葉県試験舗装の長期的な追跡調査結果の報告」として始めてPOSMAC工法・じょく層工法の5～12年経過箇所の追跡調査を実施し掲載しました。

この新技術・新工法の評価が満足できるものであれば、本工事において新技術・新工法を採用して頂きますことをお願い致します。

一般社団法人 千葉県道路舗装協会